



Cloud Volumes ONTAP システムの変更 Cloud Manager

Ben Cammett
May 31, 2021

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/occm/task_modifying_ontap_cloud.html on June 01, 2021. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

Cloud Volumes ONTAP システムの変更	1
Cloud Volumes ONTAP のインスタンスまたはマシンタイプを変更する	1
時間単位（従量課金制）の設定を変更する	1
代替クラウドボリューム ONTAP 構成への移行	2
書き込み速度を通常または高速に変更しています	2
Storage VM 名を変更しています	3
Cloud Volumes ONTAP のパスワードの変更	4
複数の AWS の HA ペアに関連付けられているルーティングテーブルの変更 AZS	4

Cloud Volumes ONTAP システムの変更

ストレージニーズの変化に合わせて Cloud Volumes ONTAP システム構成の変更が必要になる場合があります。たとえば、従量課金制構成の変更、インスタンスや VM のタイプの変更などが可能です。

Cloud Volumes ONTAP のインスタンスまたはマシンタイプを変更する

AWS、Azure、GCP で Cloud Volumes ONTAP を起動する際には、いくつかのインスタンスまたはマシンのタイプから選択できます。必要に応じてサイズが小さすぎる、または大きすぎると判断した場合は、いつでもインスタンスまたはマシンタイプを変更できます。

このタスクについて

- Cloud Volumes ONTAP HA ペア（デフォルト設定）で自動ギブバックを有効にする必要があります。サポートされていない場合、処理は失敗します。

["ONTAP 9 ドキュメント：「Commands for configuring automatic giveback"」](#)

- インスタンスまたはマシンタイプを変更すると、クラウドプロバイダのサービス料金に影響します。
- Cloud Volumes ONTAP が再起動されます。

シングルノードシステムの場合、I/O は中断されます。

HA ペアの場合、変更は中断されません。HA ペアは引き続きデータを提供します。



テイクオーバーを開始してギブバックを待機することで、Cloud Manager は一度に 1 つのノードを正常に変更します。ネットアップの QA チームは、このプロセスでファイルの書き込みと読み取りの両方をテストしたため、クライアント側で問題は発生しませんでした。接続が変更されると、I/O レベルでの再試行が表示されますが、アプリケーションレイヤはこれらの NFS / CIFS 接続の「再配線」の省略形を使用しています。

手順

1. 作業環境で、メニューアイコンをクリックし、* ライセンスまたはインスタンスの変更 * for AWS、* ライセンスまたは VM * for Azure、* ライセンスまたはマシンの変更 * for GCP をクリックします。
2. 従量課金制の構成を使用している場合は、オプションで別のライセンスを選択できます。
3. インスタンスまたはマシンタイプを選択し、チェックボックスを選択して、変更の影響を理解したことを確認し、* OK * をクリックします。

Cloud Volumes ONTAP が新しい設定でリブートします。

時間単位（従量課金制）の設定を変更する

従量課金制の Cloud Volumes ONTAP システムを 1 時間ごとに起動したあと、ライセンスを変更することでいつでも構成を Explore、Standard、または Premium 間で切り替えることができます。ライセンスを変更すると物理容量の上限が増大または減少し、さまざまなインスタンスまたは VM タイプから選択できます。

従量課金制ライセンスの切り替えについては、次の点に注意してください。

- Cloud Volumes ONTAP が再起動されます。

シングルノードシステムの場合、I/O は中断されます。

HA ペアの場合、変更は中断されません。HA ペアは引き続きデータを提供します。

- インスタンスまたはマシンタイプを変更すると、クラウドプロバイダのサービス料金に影響します。

手順

1. 作業環境で、メニューアイコンをクリックし、* ライセンスまたはインスタンスの変更 * for AWS 、 * ライセンスまたは VM * for Azure 、 * ライセンスまたはマシンの変更 * for GCP をクリックします。
2. ライセンスタイプとインスタンスタイプまたはマシンタイプを選択し、チェックボックスを選択して、変更の影響を理解していることを確認し、* OK * をクリックします。

Cloud Volumes ONTAP が新しいライセンス、インスタンスタイプまたはマシンタイプ、またはその両方でリブートします。

代替クラウドボリューム ONTAP 構成への移行

従量課金制（PAYGO）サブスクリプション、年間契約（AWS のみ）、または BYOL サブスクリプションを切り替える場合は、新しい Cloud Volumes ONTAP 作業環境を作成し、既存の作業環境から新しい作業環境にデータをレプリケートする必要があります。単一の Cloud Volumes ONTAP システムと HA ペアを切り替える場合も同様です。

手順

1. 新しい Cloud Volumes ONTAP の作業環境を作成します。

["AWS での Cloud Volumes ONTAP の起動"](#)

["Azure で Cloud Volumes ONTAP を起動します"](#)

["GCP での Cloud Volumes ONTAP の起動"](#)

2. ["1 回限りのデータレプリケーションを設定します"](#) レプリケートする必要がある各ボリュームのシステム間。
3. 終了した Cloud Volumes ONTAP システムを終了します ニーズ ["元の作業環境を削除します"](#)。

書き込み速度を通常または高速に変更しています

Cloud Manager では、Cloud Volumes ONTAP に対して通常または高速の書き込み速度を選択できます。デフォルトの書き込み速度は normal です。ワークロードで高速書き込みパフォーマンスが必要な場合は、高速書き込み速度に変更できます。

高速の書き込み速度は、すべてのタイプのシングルノードシステムでサポートされています。AWS と Azure の HA ペアでもサポートされています 特定のインスタンスまたは VM タイプ (["サポートされるインスタンスおよびのリストを表示するには、ここをクリックしてください VM タイプ"](#))。GCP の HA ペアでは、高速の書き込み速度はサポートされていません。

書き込み速度を変更する前に、次のことを確認してください ["通常の設定と高い設定の違いを理解する"](#)。

このタスクについて

- ボリュームやアグリゲートの作成などの処理が実行中でないことを確認してください。
- この変更によって Cloud Volumes ONTAP が再起動することに注意してください。

手順

1. 作業環境で、メニューアイコンをクリックし、* 詳細設定 > 書き込み速度 * をクリックします。
2. 「* Normal *」または「* High *」を選択します。

「高」を選択した場合は、「I understand ...」文を読んで、チェックボックスをオンにして確認する必要があります。

3. [保存] をクリックし、確認メッセージを確認して、[続行] をクリックします。

Storage VM 名を変更しています

Cloud Manager は、Cloud Volumes ONTAP 用に作成した単一の Storage VM (SVM) に自動的に名前を付けます。厳密な命名規則がある場合は、SVM の名前を変更できます。たとえば、ONTAP クラスタの SVM の名前と同じ名前にすることができます。

ただし、Cloud Volumes ONTAP 用に SVM を追加で作成した場合は、Cloud Manager で SVM の名前を変更することはできません。Cloud Volumes ONTAP から直接実行する必要があります。そのためには、System Manager または CLI を使用します。

手順

1. 作業環境で、メニューアイコンをクリックし、* 情報 * をクリックします。
2. Storage VM 名の右にある編集アイコンをクリックします。

Working Environment Information

ONTAP

Serial Number:

System ID: system-id-capacitytest

Cluster Name: capacitytest

ONTAP Version: 9.7RC1

Date Created: Jul 6, 2020 07:42:02 am

Storage VM Name: svm_capacitytest 

3. SVM 名の変更ダイアログボックスで名前を変更し、* 保存 * をクリックします。

Cloud Volumes ONTAP のパスワードの変更

Cloud Volumes ONTAP にはクラスタ管理者アカウントが含まれています。必要に応じて、Cloud Manager からこのアカウントのパスワードを変更できます。



System Manager または CLI を使用して admin アカウントのパスワードを変更しないでください。パスワードは Cloud Manager に反映されません。その結果、Cloud Manager はインスタンスを適切に監視できません。

手順

1. 作業環境で、メニューアイコンをクリックし、* 詳細設定 > パスワードの設定 * をクリックします。
2. 新しいパスワードを 2 回入力し、[保存] をクリックします。

新しいパスワードは、最後に使用した 6 つのパスワードのうちの 1 つと異なるものにする必要があります。

複数の AWS の HA ペアに関連付けられているルーティングテーブルの変更 AZS

HA ペアのフローティング IP アドレスへのルートを含む AWS ルーティングテーブルを変更できます。この処理は、新しい NFS または CIFS クライアントが AWS の HA ペアにアクセスする必要がある場合に実行できます。

手順

1. 作業環境で、メニューアイコンをクリックし、* 情報 * をクリックします。
2. * ルートテーブル * をクリックします。
3. 選択したルーティングテーブルのリストを変更し、* 保存 * をクリックします。

Cloud Manager は AWS 要求を送信してルートテーブルを変更します。

Copyright Information

Copyright © 2021 NetApp, Inc. All rights reserved. Printed in the U.S. No part of this document covered by copyright may be reproduced in any form or by any means-graphic, electronic, or mechanical, including photocopying, recording, taping, or storage in an electronic retrieval system-without prior written permission of the copyright owner.

Software derived from copyrighted NetApp material is subject to the following license and disclaimer:

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY NETAPP "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, WHICH ARE HEREBY DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL NETAPP BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

NetApp reserves the right to change any products described herein at any time, and without notice. NetApp assumes no responsibility or liability arising from the use of products described herein, except as expressly agreed to in writing by NetApp. The use or purchase of this product does not convey a license under any patent rights, trademark rights, or any other intellectual property rights of NetApp.

The product described in this manual may be protected by one or more U.S. patents, foreign patents, or pending applications.

RESTRICTED RIGHTS LEGEND: Use, duplication, or disclosure by the government is subject to restrictions as set forth in subparagraph (c)(1)(ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software clause at DFARS 252.277-7103 (October 1988) and FAR 52-227-19 (June 1987).

Trademark Information

NETAPP, the NETAPP logo, and the marks listed at <http://www.netapp.com/TM> are trademarks of NetApp, Inc. Other company and product names may be trademarks of their respective owners.